

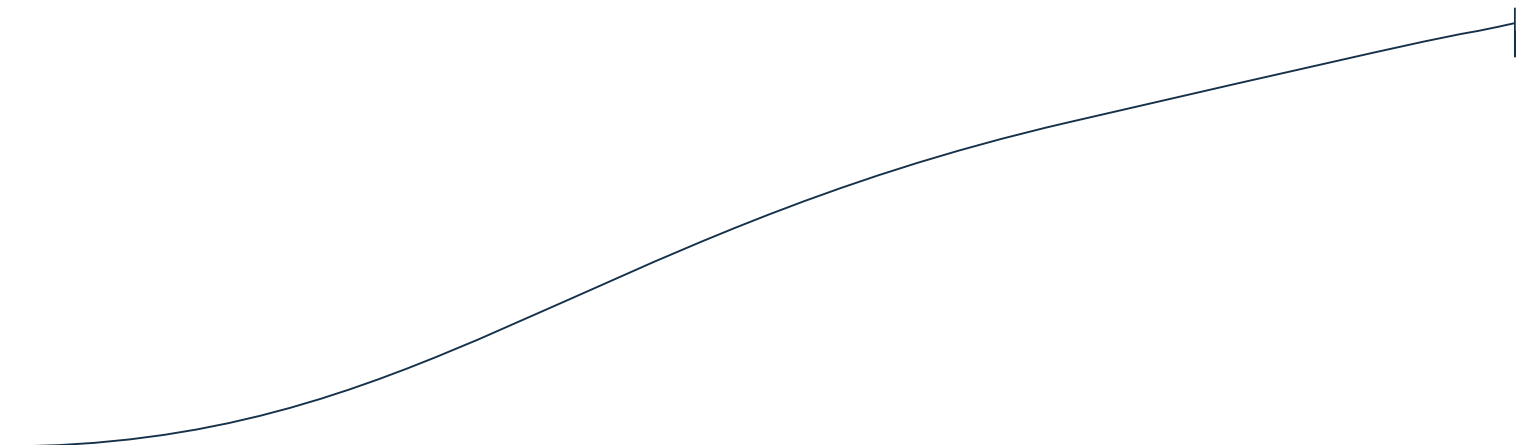
SERVICE GUIDE

MAKELEW SERVICE GUIDE

Makelew サービス概要

— AI研修とAI顧問で、"使ってみた"を"成果が出た"に変える

研修・顧問それぞれのプログラム内容と進め方をご紹介します。
具体的な費用のご相談は、無料ヒアリングで承ります。



この資料について

本資料は、Makelewが提供する2つのサービス——**AI研修**と**AI顧問**——の内容と進め方をまとめたものです。

生成AIに触ったことのある社員は、もう珍しくありません。問題はその先です。研修を受けても数か月後には元のやり方に戻ってしまう。PoCまでは動いたが本番の業務改善につながらない。「次に何をAI化すべきか」の優先順位が決められない——。Makelewは、こうした「導入したのに定着しない」という壁の、その先までを支援します。



土台を作る

AI研修

非エンジニアの方が、自分の業務を持ち込んで、AIを動かせる状態になる研修。研修後30日間は講師本人が伴走します



定着させる

AI顧問

月額制で、テーマ発掘から現場定着・標準化までを伴走する、社外のAI推進役

対象は、生成AIをすでに導入した、あるいは導入を検討している中小企業の経営層・DX推進担当の方です。以下、Makelewの考え方、各サービスの中身、導入の流れの順にご紹介します。

Makelewの考え方 — 3本柱

Makelewのサービスは、次の3つの軸で設計されています。

01 講師本人が、そのまま伴走する（引き継ぎゼロ）

ヒアリングから設計、研修、その後のフォローアップまでを、同じ人間が担当します。営業担当と講師が分かれていたり、研修後のフォローが別チームに引き継がれたりしません。文脈の再説明が発生せず、研修中に出た詰まりが、そのまま次の支援のテーマになります。

02 「誰を、どこまで育てるか」から設計する

業界に合わせて演習データを差し替えるだけなら、多くの研修会社がやっています。Makelewが変えるのは、プログラムそのものです。エース部署の生産性を数倍にしたいのか、DX推進を担う管理職を育てたいのか、全社を底上げしたいのか——組織の育成設計そのものを、御社に合わせて組み立てます。

03 Claude・AIエージェントに特化する

チャットに質問する使い方ではなく、AIエージェント（Claude Cowork・Claude Code）に「仕事を任せる」使い方を扱います。返ってくるのは「答え」ではなく、そのまま使える「成果物」と「動く仕組み」です。

システムのこともわかれば、事業のこともわかる。両軸で推進できることが、事業会社の中で実際のプロジェクトを回してきた経験から得た、Makelewのいちばんの強みです。

AI研修（1） — なぜ研修は「溶ける」のか

生成AI研修を受けても「役に立っていない」と感じる人が33.6%に上ります（イー・コミュニケーションズ 2026）。研修が失敗する理由の筆頭は「実務との関連性の欠如」で48.6%（同調査）。社内のAIツール利用率も、導入直後の3割から数か月で1～2割まで落ち込みます（AWS Japan公式ブログ）。

33.6%

研修が「役に立っていない」との回答
イー・コミュニケーションズ 2026

48.6%

失敗理由の筆頭「実務との関連性の欠如」
同調査

3割→1～2割

社内AIツール利用率の数か月での低下
AWS Japan公式ブログ

原因は、受講者の能力ではありません。次の3つの「不在」が、研修と実務の間に距離を作っています。

- **自分の業務で練習していない** — 汎用的なサンプルで学ぶため、研修で「できた」ことが月曜日の実務に変換できない
- **詰まった瞬間に聞ける人がいない** — 翌週の「どうやるんだっけ」で立ち止まる
- **経営が使い方の型を決めていない** — 使い方が人によってバラバラで、良い使い方が共有されない

Makelewの研修は、この3つの不在を潰す設計になっています。演習は御社の実データ・実業務を使い、研修後30日間は講師本人が伴走し、経営層向けには「使い方の型」を組織としてどう決めるかを扱います。

AI研修（2） — 2つのトラック

研修は、対象者に応じて2つのトラックに分かれています。

EXECUTIVE TRACK

経営トラック | AIの可能性を理解し、経営の意思決定に生かす

経営層・意思決定者向けです。Claude・Cowork・Claude Codeを自分の手で動かし、AIがどこまで使えるかを理解する——それが入口にすぎません。本題は、その理解を会社の戦略や経営判断にどう生かすかを決めることです。共有・コスト・セキュリティ・ルールの4つの決めごとを、自社に当てはめながら検討します。

こんな方に

- AI活用の号令はかけたが、何をどこまで任せるかの方針が定まっていない
- 個人の使い方は分かってきたが、組織展開の設計図がまだない意思決定者

持ち帰るもの

- 組織導入方針の一枚シート、最初90日プラン、4方針についての自社としての判断軸

PRACTICE TRACK

実践トラック | 自分の流儀を、ファイルとして仕組み化する

現場の実務担当者（非エンジニア想定）向けです。ゴールは、自分の業務をAIに任せられる状態にし、そのやり方をファイルとして残すこと。Coworkで「共有」と「コスト」を、Claude Codeで「セキュリティ」と「ルール」を、実務を持ち込みながら決めていきます。

こんな方に

- AIチャットには慣れてきたが実務をどこまで任せていいかわからない
- 自分の業務のやり方を後任やチームにも使える形で残したい
- ターミナル操作は未経験だがClaude Codeまで扱えるようになりたい方

持ち帰るもの

- 共有・コスト・セキュリティ・ルールについての現場としての判断軸、全体・案件・個人で使い分ける指示書、うっかり事故を防ぐ自動で止まるガードレール

両トラックとも、Claude・Claude Cowork・Claude Codeの使い分けを扱います。経営層の意思決定と現場の実務定着を、同じ設計思想でつなげたい場合は、両トラックの組み合わせをおすすめしています。

AI研修（3） — 進め方とフォーマット

対面推奨・少人数・カスタム設計

研修は対面での実施を推奨しています。画面越しでは伝わりにくい操作のつまずきを、その場で拾えるためです。ご相談やフォローアップはオンラインでも対応します。

演習は、あらかじめ用意されたテーマを選んでもらう形式ではなく、**御社の実際の帳票・実業務を持ち込んでいただく形式**です。少人数で実施するため、一人ひとりの手が止まった瞬間を講師が拾えます。

研修時間は**合計10時間程度を目安に、日数・時間割は御社のご都合に合わせて設計**します。決まった日数のパッケージを当てはめるのではなく、御社の体制に合わせて組み立てます。

教材資産

研修には、5教材・参考資料をあわせた教材一式を使用します。Claude CodeハンドブックとClaude Coworkハンドブックの独自ハンドブック2冊に加え、8カテゴリ・40件のAI業務事例集（すべてコピー可能なプロンプト付き）を提供します。



独自ハンドブック2冊

Claude Code／Claude Cowork



40件のAI業務事例集

8カテゴリ・コピー可能なプロンプト付き



5教材・参考資料

教材一式として提供

30日フォローアップ — 研修で終わらせない

Makelewの研修の最大の特徴は、**研修後30日間、講師本人が伴走すること**です。

研修当日に学んだことが、翌週の実務で使えるかどうかは、その後のフォローにかかっています。前述の「詰まった瞬間に聞ける人がいない」という不在は、1日の研修だけでは解消できません。

- 詰まった瞬間に、講師本人へチャットで質問できます
- 実務への適用状況を、講師が見届けます
- 教えた本人が伴走するため、引き継ぎや文脈の再説明が発生しません

研修当日

30日後：自走のスタートライン



チャットQA・実務適用の見届け

この設計の狙いは、研修を「知識を持ち帰る場」ではなく、「業務が動き出す状態を持ち帰る場」に変えることです。30日という期間は、成果を保証するものではなく、実務への定着状況を検証できる期間として設定しています。

さらに強い定着が必要な組織には、次のAI顧問による継続的な伴走もご用意しています。

AI顧問（1） — 研修の先を、伴走する

AI研修や外部セミナーを一度受けただけで、現場の仕事の進め方が変わることはほとんどありません。数か月後に様子を聞くと、担当者は覚えていても、チームでは使われていない。よくある話です。

AI顧問は、研修の先——実際に現場で使われ、成果として積み上がるところまでを見届ける役割です。対象は従業員十数名から100名規模の企業です。AI・DX推進が主軸のご相談はもちろん、開発やセキュリティを含むIT全般のご相談もお受けしています。

こんな壁にぶつかっていませんか

- 研修は受けた。けれど、しばらくすると誰も使わなくなり、元のやり方に戻っている
- PoCまでは動いた。そこから本番の業務改善につながらないまま止まっている
- 「次は何をAI化すべきか」の優先順位が決められず、着手が個人の思いつきに依存している
- 部署ごとに使い方がバラバラで、ルールや品質にばらつきがある

研修だけで止まる

一度学んでも、数か月後には担当者の記憶に残るだけで、チームでは使われなくなる

顧問で伴走する

現場に居続ける伴走者が、実際に使われ成果として積み上がるところまで見届ける

一つでも当てはまるなら、必要なのは追加の研修ではなく、現場に居続ける伴走者です。

AI顧問（2） — 進め方と月次の中身

私がやること（3つのステップ）

01 テーマ発掘 現在の業務フローを見ながら、AIに任せられる単位まで分解します。抽象的な「AI活用方針」ではなく、明日から着手できる粒度まで落とし込みます	→	02 試作で検証 ヒアリングの場で、Claude Code等を実際に動かして試作します。持ち帰って検討する時間を挟まないで、絵に描いた餅で終わりません	→	03 定着・標準化 効果が確認できた手順を、担当者が変わっても再現できる形（CLAUDE.mdやSkillなどの資産）にまとめます
--	---	---	---	---

3か月の歩み

Month 1 立ち上げ まず、最初の"効いた"を1つ作ります。範囲を絞り、小さくても目に見える成果を優先します	Month 2 推進・横展開 最初の成果を、日常業務の中で当たり前に使われる状態まで広げます。他の担当者・他部署への展開もこの段階で進めます	Month 3 成果・仕組み化 積み上がった成果を可視化し、私がいなくても社内ですでに回せる型として仕組み化します
--	--	---

実際にご相談いただくこと

議事録・日報・レポート作成の自動化／社内ヘルプデスクへのAI活用／部署ごとにバラバラなAI利用ルールの統一／社内向けハンズオン勉強会／外部ベンダーの見積りが妥当かどうかの確認／生成AI利用のセキュリティ不安に関するご相談／AI人材・情シス採用に関するご相談

プランの考え方

企業規模と、必要な伴走の密度に応じて、複数のプランをご用意しています。定例MTGの頻度や月あたりの作業時間の目安が異なります。契約時にはNDAを締結し、生成AIへのデータの取り扱いルールを事前に整理します。CLAUDE.md等の運用資産はドキュメントとして納品するため、知見が特定の担当者だけに閉じることもありません。

導入の流れ

Makelewのサービスは、まず無料ヒアリングから始まります。

01

お問い合わせ・無料ヒアリング (60分)

フォーム、または無料ヒアリングで、現状と課題をお聞かせください。売り込みの場ではなく、どこから手をつけるべきかを一緒に整理する時間にしています。

→

02

ご提案・お見積り

ヒアリング内容をもとに、研修・顧問・その組み合わせのどれが合うかを、お見積りとあわせてご提案します。研修の設計案をご覧いただいてから、進めるかどうかをご判断いただいて構いません。

→

03

ご契約・実施

内容にご納得いただけたら、契約に進みます。

料金の考え方

お見積りは、対象人数・対象規模、研修日数やトラックの組み合わせ、顧問の伴走頻度、御社の実データにどこまで合わせて作り込むか、単発か継続か——こうした要素の組み合わせで決まります。規模や頻度が同じでも、カスタマイズの深さによって工数は変わります。だからこそ、まずは現状をお聞きするところから始めています。**具体的な費用のご相談は、無料ヒアリングで承ります。**

なお、研修部分は人材開発支援助成金（事業展開等リスクリング支援コース）の対象になり得ます。詳しくは別紙「助成金早わかりシート」をご覧ください。

会社概要・代表プロフィール

18年、事業会社の中で「システム×売上」をやってきた人間が担います



AIの研究者ではありません。事業会社の中で、大規模案件・新規事業のPM／PdMとして、システムのことも事業のこともわかる立場で仕事をしてきました。

新卒～約9年間	その後約6年間	その後約2年間	2025年
大手SIerで、インフラエンジニア・PMとして従事。大規模システム更改プロジェクトのPMOを担当し、品質・コスト・納期を管理。海外新規事業の企画では、市場調査から着手してサービスを構築	事業の売上向上とDX推進を担当	大規模案件・新規事業のPM／PdMを務める	Makelew株式会社を設立

システムのこともわかれば、事業のこともわかる。両軸で推進できることが、事業会社の中で実際のプロジェクトを回してきた経験から得た、いちばんの強みです。現在も、自社の開発・データ分析・経理は、すべてAIエージェントで運用しています。研修や顧問の場でお伝えしているのは、外部で聞いてきた話ではなく、自分たちが日常的に使っている運用そのものです。

会社概要

項目	内容
商号	Makelew株式会社
代表者	代表取締役 松坂真紀
所在地	東京都大田区
設立	2025年
事業内容	AI研修、IT顧問（AI顧問を含む・月額制の伴走支援）、業務システムの受託開発

お問い合わせ

まずは無料ヒアリング（60分）で、今の状況を聞かせてください。売り込みの場ではなく、どこから手をつけるべきかを一緒に整理する時間にしています。オンラインでも対応します。

具体的な費用のご相談も、この無料ヒアリングで承ります。御社の状況をうかがったうえで、研修・顧問・その組み合わせのどれが合うかを、お見積りとあわせてご案内します。

GET STARTED

まずは無料ヒアリングから

お問い合わせ・無料ヒアリングのお申し込みは、以下からお願いいたします。

makelew.com/contact

01

無料ヒアリング（60分）

02

ご提案・お見積り

03

ご契約・実施